

池郷林道の状況調査

◇実施日 4月2日(土)

晴

◇参加者 梶野照雄

1名

昨年の3月初旬、池郷林道に続く村道で大きな崩落があり復旧工事が続けられていたが、3月18日に工事が終わり、4月1日から通行が可能になった。

この一年間、持経宿に向かうのに白谷林道を使っていたが、池郷林道經由より40分ほど余分な時間が掛かり、池郷林道の再開が待ち望まれていた。春季巡視に持経宿をベースにするものが待ち構えているので、再開された池郷林道の状況を調査した。



桜満開のスポーツ公園



村道の開通箇所



池郷川の滝

午前10時、桜が満開のスポーツ公園に到着。朝7時過ぎには駐車場の3、4が埋まっていたそうだ。

スポーツ公園を離れて池郷林道へ向かう。先週まで置かれていた通行止めバリケードは道路脇に片付けられていた。

工事が終わった村道の崩落箇所はきれいにアスファルト舗装され、ガードレールも設置されて崩落直後の様子はいかがうことが出来る。

谷側をのぞき込むと崩落の痕跡が残っている。谷側が崩れたため、以前生えていた木々が無くなり、見えていなかった滝がよく見えるようになった。



村道の整備中



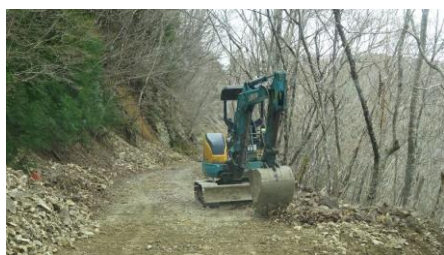
池郷林道ゲート



大崩落跡地

崩落箇所を過ぎて、先週路面に落石が散らばっていた箇所を過ぎる。有ったはずの落石が無くなっている。誰か掃除したのか?と思いつつ道を進むと、一台のホイールローダーが先に見えた。運転していた人に話を聞くと、ゲートまでの村道を掃除するという。

ゲートまで特に大きな落石は無く通常の時間でゲートに着いた。ゲート先の大崩落箇所は4トン車も通行可能な位に広げられていた。この先の池郷林道は落石のオンパレードで、10m進んで車を降りて落石除去、20m進んでまた落石除去、の繰り返しで先日の白谷林道と大差なかった。救いは動かせない大きな岩が無かったことだが、一ヶ所だけ通過に躊躇したところがあった。



た。十津川の会社なので、白谷林道を経由してここまで来ていると思われ、当然白谷林道もきれいになっていいるだろう。停車している向きも池原側なので、池郷林道のゲートまでを整備しようだ。この重機が通過した後なら、苦労して落石除去をする必要は無かったかもしれない。林道の落石除去や整備の情報が共有できないことが悔やまれる。



通過を躊躇した

落石のオンパレード

建設会社の重機

2時間位で持経宿に着くだろうと思っていたが、ゲートを過ぎてからすでに1時間45分経った。ようやくやくかつての路盤崩落補修箇所を過ぎる。落石を取り除きながら平坦な場所に到達、持経宿が射程に入ってきた。

見覚えのある建設会社名が書かれた小型重機が道の脇に停められていた。以前白谷林道の整備をしていた十津川の建設会社で、同じように林道整備をしているようだ。持経宿までの、いつも土砂が流れ出している場所も土砂が取り除かれて、きれいに整地されてい

きれいに整地されていた

午後1時過ぎに持経宿到着。小屋内で昼食を摂る。スポーツ公園を出てから3時間、車で移動しただけなのに歩行距離は4km程あった。

通行止め看板を撤去

小屋と林道三差路、それと池原側に少し行った場所にあった林道通行止めの看板を撤去、トイレ前に収納して持経宿を離れる。行きは3時間かかったが、帰りは池原まで55分だった。

蹴り道、前鬼に寄り道する。前鬼口にあった通行止めの看板を外し林道ゲートに向かう。前鬼林道はトンネル工事で通行止めになって

いるが、タイミングが良ければ通行できるかな？と思い先に進む。七重の滝展望所手前でコンクリートミキサー車が降りてきた。これで通行不可を悟る。滝展望所で写真を撮り、トンネル工事の現場まで行った。やはり工事の真最中で通過できなかつた。

郷林道ゲート↓14:50 上池原↓14:46 前鬼口↓14:57 トンネル工事現場↓15:03 七重の滝展望所



無事ゲートに戻る

前鬼口の看板撤去

不動七重の滝

通行止めの看板は前鬼林道ゲートと太古ノ辻、深仙宿、太尾登山口にある。現在太尾登山口に向かうアクセス道路が崩土通行止めなので、これらの撤去はすぐにはできない。通行止め看板はこの他に浦向道登山道入り口、行仙宿登山口、補給路登山口にあるが、これらは次回の巡視の際に取り外す予定だ。
(記：梶野)

行動タイム

10:00 スポーツ公園↓10:12 村道の復旧箇所↓10:32 池郷林道ゲート↓12:15 路盤崩落復旧箇所↓13:15 持経宿 13:55→14:21 池